

## 全国社会人躰道優勝大会実行委員会からのメッセージ

本実行委員会では「社会還元できる大会」を目指し大会運営を行うことを再確認いたしました。参加者一人一人が社会の一員であり、様々な団体に所属しています。団体が社会を構築し、様々な社会の役目を果たしています。各参加者がそれぞれの団体を宣伝したり、盛り上げることで、社会還元が可能と考えています。今大会では「社会還元」を念頭に、大会運営と競技の見直しを行いました。

### 【変更点】

#### ○特別競技の個人自由法形競技の廃止

個人自由法形競技は、一般個人法形競技の競技性から離れ、制限の少ない参加しやすい競技種目にする事で選手同士の親睦を深めることを目的としていました。昨年の全日本大会より社会人大会個人種目優勝者の出場資格が廃止され、一般個人法形競技が、出場枠を争う競技では無くなりました。これを受け一般個人法形競技が競技性だけでなく、親睦などより多様な目的を担える競技と考え、個人自由法形競技を廃止いたしました。

#### ○女子団体実戦競技の新設

男女混合だった団体実戦を男子と女子に分けた競技にいたしました。参加する女子選手が増え、団体実戦を行えるだけの申し込み数が昨年ありました。今年から競技を新設いたします。

#### ○団体競技のチームで申込み(個人申込の廃止)

団体実戦競技での個人申込を廃止いたします。チームを組んで申込みをお願いいたします。所属団体ごとでチーム申込みを希望いたしますが、所属団体枠を越えて申込可能といたします。所属団体枠を越えた申込みをそれぞれの団体で申込みを行なう場合、正確に『チーム名』を記載して下さい。

#### ○男子団体実戦の出場チーム数制限

時程の都合上、男子団体実戦の出場チームを16チームまでとさせていただきます。昨年の前回大会では、個人参加の2チームを含め17チームでのトーナメントで、長時間にわたる大会と限られた数の審判団に対して競技の限界がありました。今大会では女子団体実戦を設けた上、16チームでも昨年の大会の同等の規模の開催を確保できていると考えています。

#### 【備考】

特別競技の壮年実戦競技 : 3年目の実施となり次回競技の見直しを行う予定です。壮年競技は一般と同様の躰道の動きを求められますが、怪我を負うリスクが高いと考えられます。選手年齢枠の規定や競技の内容を見直すため、今大会で実施される競技様子を参考にいたします。

今大会の目的と変更点について、選手皆様のご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

第28回全国社会人躰道優勝大会実行委員会